

学校だより 磯松 5月号

生活二題： 明るく元気なあいさつをしよう!! 時間を守り、機敏な行動をしよう!!

自然からの贈り物

校長 新門 健一

高齢者学級の開講式後の懇親会の席上で、ふとしたことから「ウミガメが卵を産みに来ていたら連絡してやるが。」とある先輩からお話がありました。翌朝カメが上陸して産卵したらしく、早速お電話をいただき小学生の息子とお宅を訪問し、海岸まで案内していただきました。ウミガメが上陸した後の様子等説明していただき、最終的に産卵した場所の土を掘り返してみました。直径20cm程の穴を30cm程掘り進めたところにピンポン球のような白い卵がありました。触ってみるととても柔らかい物でした。実物を見るのは、私も息子も初めてでしたのでとても感動しました。卵のある場所は、水がたまる場所でも人が歩き回る場所でもないのでもそのままにして埋め戻して帰りました。

地域の方々からウミガメが昔はよく長浜海岸に産卵に上陸していたが、この頃は砂浜がどんどん無くなってきたのであまり姿を見なくなったという話を聞いていました。学校には、ウミガメの卵の孵化場(海岸から砂を運んで造った物)がありますが長いこと使われていないようでした。港の堤防が出来、砂の流失を防ぐためにテトラポットが入れられ、ウミガメの産卵にとっての障害が増えたからだと思います。それら乗り越え産卵されたこの卵は無事に孵ってほしいと思っています。

硫黄島にはまだ他にも多くの自然からの贈り物があります。何らかの形でふれあう機会をつくり、それらによって子ども達が豊かな心を育んでいければと思っています。



JRC登録式・海岸清掃

13日(木)にJRC(青少年赤十字)登録式と海岸清掃を実施しました。JRCでは、「健康・安全」、「奉仕」、「国際理解・親善」の3つを実践目標として掲げています。三島小中学校児童生徒会も毎年JRCに登録し、この実践目標のもと、子ども達が様々な場で自主的に活動することをすすめています。その初めの活動として、例年、海岸清掃を実施しています。この日も、一生懸命ごみ拾いをしました。その結果、昨年より多いトラック2台分ものごみを拾いました。今年度もJRCの精神を受け継ぎ、思いやりの心をもって様々な活動に取り組みます。



避難訓練(硫黄岳爆発)

26日(月)に硫黄岳爆発を想定した避難訓練を実施しました。昨年度までの訓練にかえ、今回はより実践的な訓練をするため、子ども達への事前の予告無しに実施してみました。きちんとした行動ができるか心配でしたが、落ち着いて校舎内から校庭へ素早く集合したり、避難場所である開発センターへロープを活用しながら整然と移動したりすることができました。

講師の安永瞳消防分団長からは、落ち着いた行動をとることができたことについてはよかったが、危機意識を持ち続け、今後も自分の身を守るためによりよい方法を考えるようご指導いただきました。訓練を通して、万一の際の避難方法など、大切なことを学びました。



春の一日遠足

11日(火)は「春の一日遠足」でした。始めに学校の家庭科室で昼食の材料の下ごしらえをしました。昼食は子どもたちの大好きなカレーです。自分たちが食べるものなので、いい加減にはできません。慣れない包丁をがんばって握り、ジャガイモなどを切っていました。

東温泉について、火をおこし、カレーを作りました。大自然の中で、しかも自分たちの手作りのカレーを食べ、さぞおいしかったことでしょう。どの子も満足そうな表情をしていました。

天候にも恵まれ、みんなでレクリエーションを楽しむこともできました。子ども達にとって楽しく充実した思い出に残る一日遠足でした。



小中合同交流宿泊学習

26日(水)~27日(木)に、「冒険ランド」にて三島村小中学校4校合同交流宿泊学習(小学3年~中学3年)が実施されました。心配された天気にも恵まれ、充実した活動ができました。

島内散策や炊飯活動では、4校がひとつになって楽しく活動することができました。また、キャンプファイヤーは、三島小中学校からのジャンベ演奏や各校からの歌・ダンスなどの出し物で盛り上がりました。このようなレクリエーションやスポーツなどの学習を通して、和やかな雰囲気の中、相互の交流を一層深めることができました。

日頃はなかなか一緒に活動する機会がない中、4校が協力し合って様々な活動を実施することができ、子ども達にとって、貴重な充実した体験になりました。



PTA奉仕作業 ありがとうございます!!

4月16日(金)は、おいそがしい中、PTA奉仕作業に御協力いただきまして本当にありがとうございました。おかげ様で学校が前よりも一層きれいになりました。

今後も学校を大切に、進んで環境整備に努める子どもたちを育ててまいります。

